

「各種統計」2019年4月分のデータを更新しました。

●平成29年工業統計を基にした日本の印刷産業の概況を掲載

1. 印刷産業の位置・規模(平成29年工業統計 産業編)

印刷・同関連業(印刷産業)の事業所数は、製造業24業種中、「金属製品」「食料品」「生産用機械器具」「繊維工業」に次ぎ5番目に多く、全製造業の6.3%を占めています。印刷産業の平成28年の出荷額は前年比▲3.4%減少し5兆2752億円となりましたが、製本業は▲3.2%、印刷関連サービス業は19.2%増加となりました。

業種	事業所数	%	従業者数	%	出荷額	%
印刷・同関連業	23,205	4.8	285,815	0.6	5,275,282	▲ 3.4
印刷業	18,726	4.0	239,889	0.6	4,740,504	▲ 3.4
製版業	1,161	5.6	18,121	0.3	272,486	▲ 5.0
製本業	1,578	4.6	15,284	▲ 3.7	143,329	▲ 3.2
印刷物加工業	1,531	22.0	10,315	7.1	95,217	0.6
印刷関連サービス業	209	▲ 22.3	2,206	14.7	23,747	19.2

資料: 経済産業省 平成29年工業統計産業編より

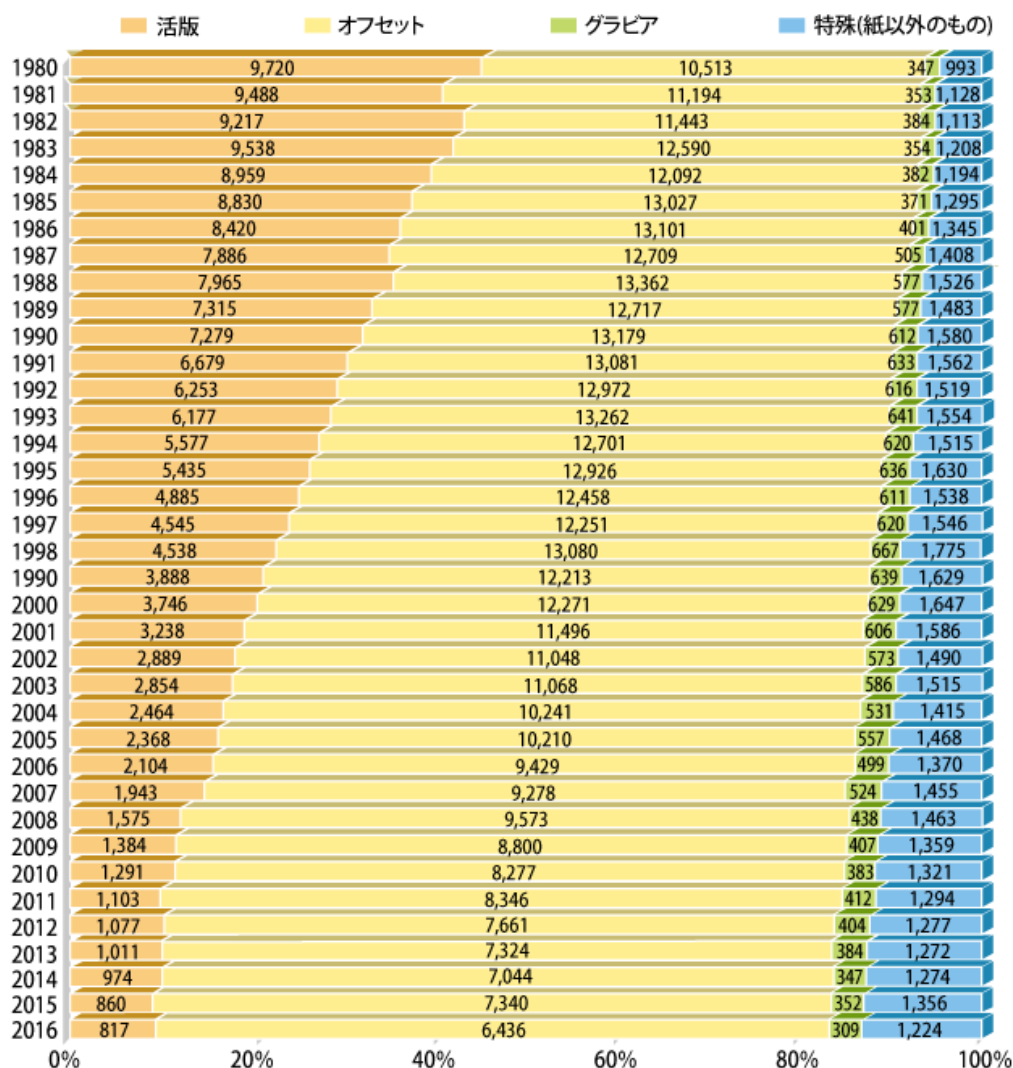
(注)

- ・製版業とは、主としてオフセット版、とっ版、グラビア版、スクリーン版などの印刷原版又は刷版を製造する事業所をいう。
- ・印刷物加工業とは、主として印刷物の光沢化工、裁断、箔押しなどの加工を行う事業所をいう。
- ・印刷関連サービス業とは、主として校正刷り、刷版研磨などの印刷・同関連業にかかわる補助業務を行う事業所をいう。
(日本標準産業分類より)

2. 印刷産業の主要4品目産出事業所数(平成29年工業統計 品目編)

平版(オフセット)印刷物は全製造業の品目で最も多い事業所数となっており、47都道府県中26都道府県で最も事業所数の多い品目となっています(6,436事業所)。特に東京都ではオフセット印刷物の事業所数が1位を占めています。

主要4品目産出事業所数推移



資料：2015年は経済センサスデータより

(注)

- ・経済産業省の工業統計表・産業編は全事業所を対象とした統計、品目編は従業員4人以上の事業所を対象とした統計。
- ・特殊とは、紙以外のものに対する特殊印刷物をいい、紙以外の印刷業とは、主として紙以外に各種の印刷を行う事業所をいう。
○プラスチックフィルム印刷業；金属印刷業；布地印刷業（日本標準産業分類より）
- ・インバウンド関連については、[こちら](#)をご覧ください。⇒ [じゃぱにうむ更新情報](#)
- ・詳細は隔月刊誌「印刷産業関連データ」および年報「マーケティング・データ・ブック」をご覧ください。

●経済産業省の生産動態統計を基にした印刷業の最近の動きを掲載

経済産業省が発表した2019年4月の生産動態統計によると、従業者100人以上の印刷業の生産金額は前年同月比1.4%の増加となりました。

(⇒[じゃぱにうむ更新情報参照](#))

詳細は隔月刊誌「印刷産業関連データ」をご覧ください。

	2019/4	2019/1-4
印刷産業生産金額 百万円	31,573	124,196
同 前年同月(期)比 %	1.4	▲ 0.3

●経済産業省の生産動態統計を基にしたインキ、機械、紙などの最近の動きを掲載

経済産業省が発表した2019年4月の生産動態統計によると、印刷インキの生産量は前年同月比0.8%の増加、産業用デジタル印刷機を除く印刷機械の生産台数は▲10.0%の減少、紙の生産量は▲6.6%の減少となりました。

詳細は隔月刊誌「印刷産業関連データ」をご覧ください。

	2019/4	2019/1-4
印刷インキ生産量 t	29,185	106,899
同 前年同月(期)比 %	0.8	▲ 2.0
印刷機械生産台数 台	144	657
同 前年同月(期)比 %	▲ 10.0	▲ 17.7
紙合計生産量 t	1,107,175	4,608,968
同 前年同月(期)比 %	▲ 6.6	▲ 3.5

印刷機械生産台数は産業用デジタル印刷機を除く。

印刷機械、紙合計はリンク係数により前年同月比を計算。

※過去の各種統計データは、[各種統計アーカイブ](#)にて掲載していますので、ご参照ください。